

事業の概要

取組の目的

三重県では、1973年にブラジルサンパウロ州と姉妹提携を締結し、令和5年に50周年を迎えたところである。両県州の交流については、ブラジル三重県人会が懸け橋として重要な役割を果たすとともに、現地で両県州の魅力を発信していただくサポーターに「みえ友パウルスタ※1」を委嘱している。併せて、三重県庁には、JETプログラムを通じたブラジル人の国際交流員（ポルトガル語）を継続的に配置している。本事業においては、これまで築いてきた人的なつながりを活かし、連携して、サンパウロ州内で、三重県の魅力を効果的に発信することで、三重県への関心・理解を促進させるとともに、現地での三重県ファン（Mie amigos※2、ミエ・アミーゴス）を増加させ、もって、両県州の友好交流の一層の促進に資することを目的とする。

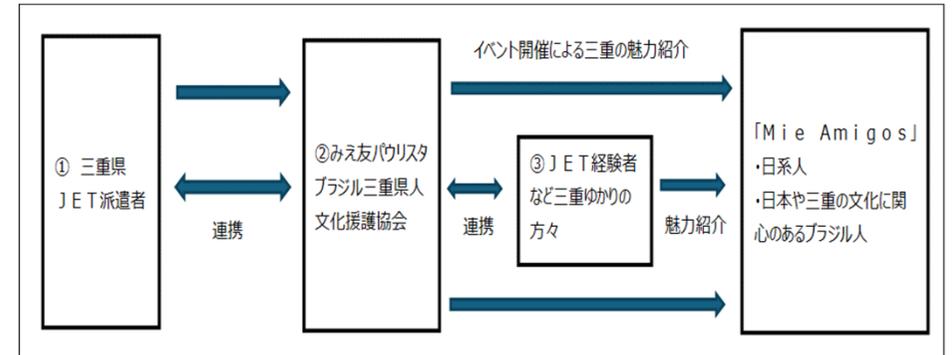
取組内容

- ✓ 取組1 **三重県の魅力発信イベントの開催**
「みえ友パウルスタ」等、現地での三重県ゆかりの方々と連携し、ブラジルで絶大な人気を有する忍者等、三重県の伝統文化を切り口にその魅力を発信するためのイベントを開催する。
【実施イベント】
 - ① 体験型忍者イベント
 - ② 大志万学院との交流会
 - ③ 県人会主催うどん祭りとのコラボイベント
- ✓ 取組2 **現地の若者に向けた情報発信**
三重県の魅力を、次世代を担う若者層を含めて現地でより広く訴求させるため、三重県人会の管理するSNSアカウント「Mie amigos」を活用し、イベントの告知や当日の様子等について発信する。

※1 **みえ友パウルスタ**：三重県とサンパウロ州の魅力を発信し、友好関係を応援する現地サポーターとして三重県が委嘱。（平成26年～）直近では、令和5年1月に県人会を将来を担う若者等4名を三重県に招聘し、委嘱を行った。

※2 **Mie Amigos**：ポルトガル語で「三重の友達たち」という意味。友好交流事業における合言葉として使用するとともに、三重県人会のSNSアカウントの名称でもある。

事業実施体制



今年度の目標及び期待する効果

- 1 若者の活動意欲向上
みえ友パウルスタを中心とした若者の活動意欲が向上する
- 2 三重ゆかりの方々同士の連携強化
みえ友パウルスタ、JET経験者、県人会会員等のつながりが強化される
- 3 三重県への関心の向上
サンパウロ州の若者の間で三重県への関心が高まる

将来的な目標及び期待する効果

- 1 友好の懸け橋である県人会の持続可能な発展
 - ・県人会の会員数の維持・拡大
 - ・県人会と多様な主体との連携強化
- 2 三重県とサンパウロ州の友好関係の発展
 - ・多様な主体が県とブラジルとの交流事業に参加

目標及び期待する効果

取組の概要

取組 1-①
体験型忍者イベント

- 日程：2024年11月16日～17日
- 実施場所：ブラジル日本文化福祉ビル（サンパウロ市）
- 参加人数：758名
- 内容：忍者衣装体験、忍者手裏剣体験など、三重県の歴史・文化である忍者をテーマとしたイベントを実施

【工夫やポイント】

- ✓ リベルダージ（日本人街）という日本文化に関心のある人が参加しやすい場所で実施。
- ✓ 若者に訴求できるようにイベント内容を体験型・参加型とし、広報でもSNSを活用。
- ✓ イベントは、忍者の世界観に入り込めるようストーリー性を重視。

取組 1-②
大志万学院との交流会

- 日程：2024年10月22日（火）
19：00～20：00
- 実施場所：大志万学院 大講堂（ブラジル・サンパウロ市）
- 参加人数：66名
- 内容：ブラジル大志万学院にて、三重県の招聘研修に参加した「みえ友パウルスタ」による、三重県の魅力を紹介する交流会を実施

【工夫やポイント】

- ✓ 大志万学院は、現地で日本語教育・日本文化理解に取り組む学校で、創設者は三重県ゆかりの方。
- ✓ 講師を令和6年1月に三重県の招聘研修に参加した「みえ友パウルスタ」3名へ依頼



取組 1-③ 県人会主催うどん祭りとコラボした三重県の伝統食PR

- 日程：2024年10月24日
- 実施場所：三重会館（サンパウロ市）
- 参加人数：573名
- 内容：ブラジル三重県人会が主催する「うどん祭り」に合わせて、三重の伝統食である「伊勢うどん」をPRするとともに、お伊勢まいりなど三重県の歴史文化を紹介

【工夫やポイント】

- ✓ 三重県でのJETプログラム経験者が来場し、メディアインタビューなど三重の魅力発信に協力。
- ✓ 県人会が実施する「うどん祭り」とコラボ。イベントの周知や当日の運営において県人会の協力あり



取組 2 SNS・現地新聞での情報発信

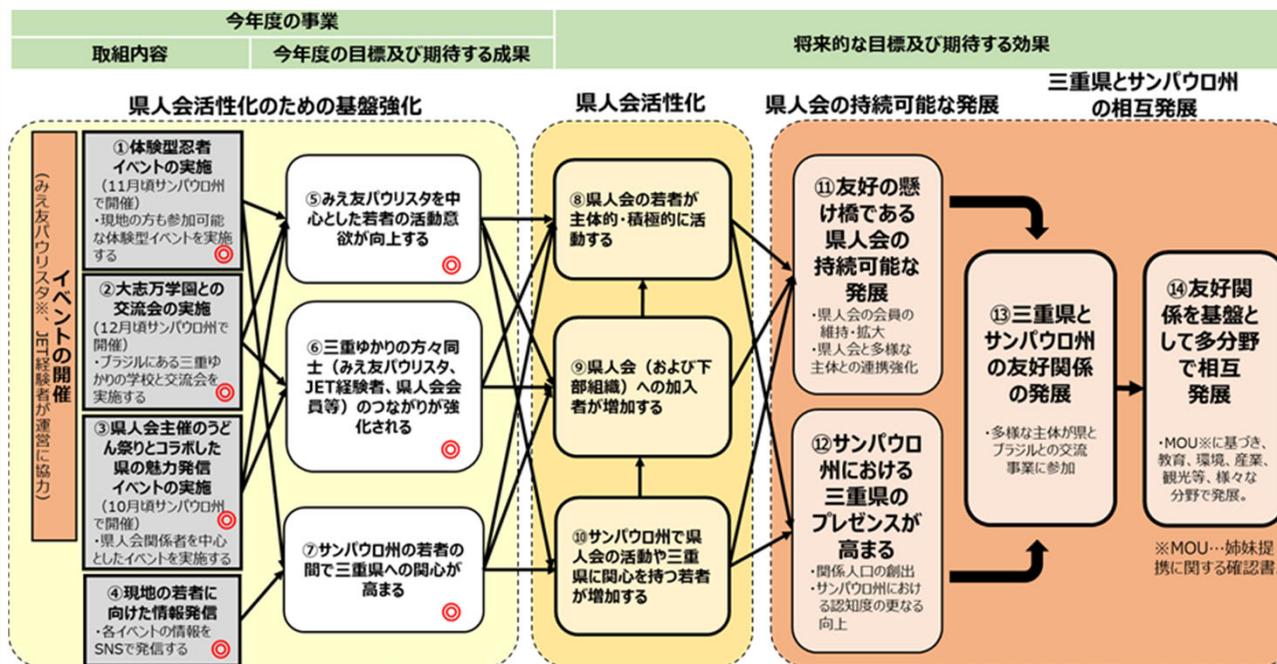
- 内容：県人会のSNSや現地日系社会に影響のある新聞を活用して、3つのイベントの告知および結果について情報を発信。

- ①県人会SNS「Mie-Amigos」への掲載：計14回 154,234リーチ
- ②ブラジル日報への記事掲載：告知記事2回（うどん、忍者のみ）、報告記事3回
- ③ブラジル日報ポルトガル語版「Portal Nippon ja」への記事掲載：告知記事2回（うどん、忍者のみ）報告記事3回

【工夫やポイント】

- ✓ SNSと新聞記事の両方で広報を行うことで、日系・非日系に限らず、幅広い層へアプローチを試みた
- ✓ SNSは3つの媒体（Instagram、TikTok、YouTube）を活用
- ✓ 訴求対象への発信効果を高めるため、適宜、ターゲティング広告を活用

ロジックモデルと目標達成の概況



事業の結果・成果

指標達成状況

| | 指標項目 | 目標値 | 実績値 |
|---|-------------------|--------------------------------|--------------------|
| ① | イベント参加人数(忍者) | 300人 | 758人 |
| ② | イベント参加人数(大志万学院) | 50人 | 66人 |
| ③ | イベント参加人数(伊勢うどん) | 150人 | 573人 |
| ④ | SNSリーチ数 | 3000回 (県会来県 の配信実績を参照し設定) | 154,234回 |
| ⑤ | みえ友パウリスタの活動意欲の高まり | 100% | 100% (3/3) |
| ⑥ | 三重県関係者のつながり強化 | 100% | 100% (4/4) |
| ⑦ | 参加者の三重への関心(30代以下) | 80% | 89.9% (286/318) |

その他の成果等

- ✓ **ブラジル・サンパウロ州以外の国・地域からの参加**：忍者イベントについては、開催場所をサンパウロ州の観光地でもあるリベルダーヂ（日本人街）としたことから、ブラジル・サンパウロ州以外の国・地域からの参加者も多くみられた。その結果、アメリカ、ドイツ、チリ、ウルグアイといった外国人観光者へも忍者をPRすることに繋がった。
- ✓ **県人会の若者が主体的・積極的に活動**：県人会青年部長をはじめ、みえ友パウリスタが中心となり各イベントの運営を行ったことで、県人会活動への参加意欲が向上した。

今後の事業展開

今後の方針

- ✓ 「みえ友パウリスタ」などの将来県人会活動の中心となる人物の更なる参加意欲の向上を図る。
- ✓ 中心人物が無理なく活動を継続できるよう、周囲のサポート体制の強化を図る。
- ✓ 県人会活動へ関心を高めることで、県人会への加入促進を図る。

次年度以降の予定

- ✓ 引き続き交流の架け橋であるJETプログラム経験者、みえ友パウリスタ、ブラジル三重県人会等と良好な関係を築き、県人会の持続可能な発展に資する事業を協力して実施することで、三重県とサンパウロ州の交流促進につなげていく。